学校番号	3016

令和５年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版「数学Ｂ」新訂版（実教出版）						
副教材等	スパイラル数学Ｂ学習ノート【数列】【ベクトル】（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は集中して聞き、ノートをきちんと取りましょう。自ら考え、積極的に発表や質問を行い、意欲的にとりくみましょう。
・家庭では、副教材である問題集を使って学習し、授業で学んだ内容の理解を深めましょう。
・問題集の問題は、途中式や考え方も書きましょう。各自で答え合わせをしてください。間違った所は、答えのみ訂正するのではなく、つまずいた部分から書き写し、考え方を理解しましょう。
・提出物は、指示通りきちんとやり、期限を守って提出しましょう。期限を過ぎれば、受け取りません。
・できることを繰り返すことで本当の力になります。宿題や課題をやるだけでなく、予習や復習など自ら学ぶことが大事です。

2　学習の到達目標

数列又はベクトルについての基礎的な知識や技能を習得します。また，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばします。さらに，それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数列又はベクトルに関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列又はベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列又はベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列又はベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 定期テスト 授業プリント 観察等	確認テスト 定期テスト 授業プリント 観察等	確認テスト 定期テスト 授業プリント 観察等	確認テスト 定期テスト 授業プリント 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td rowspan="3">数列</td><td>数列とその和</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:数列の一般項や初項から第 n 項までの和を n を用いて表わし、それを身近な問題の解決に活用しようとする。
数列の一般項や和の記号Σに関心をもち、数列を身近な問題の解決に活用しようとする。
b:等差数列や等比数列の一般項や初項から第 n 項までの和の求め方を理解し、活用できる。階差数列の意味と階差数列を活用して一般項を求める考え方を理解できる
c:等差数列や等比数列、階差数列の性質に着目し、公式を導くことができる。
d:数列の一般項の意味を理解し、等差数列や等比数列の表現法を身に付けている。記号Σの意味を理解し、和の公式を身に付けている。</td><td rowspan="3">確認テスト
定期テスト
授業プリント
観察等</td></tr>
<tr><td>いろいろな数列</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>数学的帰納法</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td rowspan="2">平面上のベクトル</td><td>平面上のベクトル</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">a:ベクトルに関心をもち、ベクトルの基本的な概念や性質を調べようとする。位置ベクトルに関心をもち、図形の考察に活用しようとする。
b:ベクトルの意味や演算、成分などの基本的な考え方について理解できる。
c:ベクトルのなす角やベクトルの平行、垂直を式で表現し、平面図形の性質を数学的に考察し処理ができる
d:ベクトルの基本的な概念を理解し、いろいろな事象をベクトルで表現し処理する考え方を身につけている。</td><td rowspan="2">確認テスト
定期テスト
授業プリント
観察等</td></tr>
<tr><td>ベクトルの応用</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>3学期</td><td>空間のベクトル</td><td>空間のベクトル</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>a:空間のベクトルに関心をもち、ベクトルの基本的な概念や性質を調べ、空間図形の考察に活用しようとする。
b:空間におけるベクトルが、平面上のベクトルと同様に扱えることを認識している。
c:空間のベクトルを用いて、基本的な空間図形の性質や関係を表現できる。
d:空間ベクトルの演算や内積及び成分表示を理解し、空間図形の考察に活用する考え方を身に付けている。</td><td>確認テスト
定期テスト
授業プリント
観察等</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解